

テーマ	集落活動への取組による営農意欲の堅持と耕作放棄地抑制		
実施年度	平成23～24年度	取組内容	集落活動
取組主体	グリーン無代寺地区	活用事業等	農地・水保全管理支払交付金
取組の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平戸市は九州の北西部に位置し、本土の田平町と周辺の島々から成る農水産業を基幹とした市である。中山間地が多く、基盤整備が進んでいないこともあり、高齢化、担い手不足、獣害被害により条件不利地から耕作放棄地が増加している。 無代寺地区は水稻が盛んで農地・水保全管理事業に取り組んで2期目であり、イノシシ対策として地域全体で電気柵を設置するなど地域一丸となって耕作放棄地の発生抑制に取り組んでいる。 		
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地区のため池は昭和初期の築造で老朽化が進み、営農条件の確保と耕作放棄地の発生抑制を図る上で、その機能の維持向上が急務となっていた。このため、農地・水保全管理支払交付金を活用し保全活動として取り組むこととした。 洗掘のあった堤体の補修、補強、堤体貯水面の満水位までのコンクリート被覆、取水管の漏水補修等を実施することにより、水量を確保しつつ、ため池の機能の維持向上を行った。 		
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 天水に頼る中、ため池機能の回復の意義は水稻中心の当地区ではとても大きく、集落で取り組んだことで、地域の結束だけでなく、営農意欲の堅持に繋がった。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化、担い手不足が進む中、後継者を確保し、地域営農と集落活動を継続維持、さらなる集落の活性化が課題。 		
事例写真	<p>改修したため池の護岸</p>  <p>改修中のため池</p>   <p>集落の農地</p> 		
連絡先	平戸市役所農林課 TEL 0950-22-4111(代表)		